

第 1027 回 高知市教育委員会 11 月臨時会 議事録

1 開催日 平成 20 年 11 月 6 日(木)

2 委員長開会宣言

3 議事

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 市教委第 53 号 高知市立新堀小学校・追手前小学校の統合に係る新校名の決定並びに高知市立学校設置条例の一部改正に対する意見について

4 委員長閉会宣言

5 出席者

(1) 委員	1 番委員	澤 田 智 恵
	2 番委員	溝 渕 悦 子
	3 番委員	西 山 彰 一
	4 番委員	山 本 和 正
	5 番委員	松 原 和 廣
(2) 事務局	教育次長	岡 村 修
	教育次長	舛 田 郁 男
	総務課長	弘 田 充 秋
	学校教育課長	片 岡 正 樹
	学事課長	佐々木 正 彦
	総務課長補佐	山 本 正 篤
	学校教育課学校教育班長	松 下 整
	学校教育課指導主幹	今 西 和 江
	総務課総務係長	小 田 優
	総務課総務係主査	岡 宗 裕 美

第 1027 回 高知市教育委員会 11 月臨時会 議事録

1 平成 20 年 11 月 6 日(木) 午後 4 時～午後 5 時 43 分 (たかじょう庁舎 6 階人事政策室会議室)

2 議事内容

開会 午後 4 時

澤田委員長

ただいまから、第 1027 回高知市教育委員会 11 月臨時会を開会いたします。

はじめに、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は山本委員さん、お願いいたします。

それでは、日程第 2 市教委第 53 号「高知市立新堀小学校・追手前小学校の統合に係る新校名の決定並びに高知市立学校設置条例の一部改正に対する意見について」を議題とします。

関連する内容ではありますが、審議内容は二つありますので、まず、「高知市立新堀小学校・追手前小学校の統合に係る新校名の決定」について審議します。事務局の説明を求めます。

学校教育課長

学校教育課長の片岡でございます。追手前小学校と新堀小学校の統合に係る新校名の決定に関しご説明申し上げます。

資料の 1 ページをお開きください。ここに、新堀小学校・追手前小学校の合併統合に係る校名検討委員会からの報告として神家一成委員長名で 7 つの候補名が出されております。候補名は「中央小学校」「はりまや小学校」「はりまやばし小学校」「高知中央小学校」「城東小学校」「はりまや橋小学校」「第一小学校」、以上 7 つでございます。ここに掲げました候補名には、順位性は特にないということでございます。

それでは、資料の 2 ページをご覧ください。第 3 回校名検討委員会における審議の結果、教育委員会に提出された候補名とその理由をまとめたものでございます。これらは、第 3 回校名検討委員会において、検討委員の皆さまから出されたそれぞれの校名の主な推薦理由でございます。

まず「高知市立中央小学校」でございます。「高知市の中心に位置する学校であるから。」「学校の所在地が高知市の中心にあるというだけでなく、『中央』という言葉には、『物事の真ん中』、『中心』という意味もあり、子どもたちがこの校名を誇れるのではないかと考えたから。」「高知市の中心に位置するという地理的条件、立地条件のよさ、文化の中心でもあるという意味から。」という理由が添えられております。

次に「高知市立はりまや小学校」でございます。「『はりまや』『はりまや橋』は、新堀小学校からも追手前小学校からも近く、その中間地点にあるから。」「『はりまや』や『はりまや橋』という名称は、全国に通用するものであり、小学校の名称としても全国に発進できる名前であると考えから。」「『はりまや』『はりまや橋』という言葉には、明るくて活力あるイメージがあるから。」などでございます。

「高知市立はりまやばし小学校」でございます。「『はりまや』『はりまや橋』は、新堀小学校からも追手前小学校からも近く、その中間地点にあるから。」「『はりまやばし』と、『はし』がひらがなのほうが低学年の子どもたちにとって書きやすいと考えたから。」「『はりまや』や『はりまや橋』という名称は、全国に通用するものであり、小学校の名称としても全国に発進できる名前であると考えから。」「『はりまや』『はりまや橋』という言葉には、明るくて活力あるイメージがあるから。」などでございます。

「高知中央小学校」でございます。「高知市の中心に位置する学校であるから。」「学校の所在地が高知市の中心にあるというだけでなく、『中央』という言葉には、『物事の真ん中』、『中心』という意味もあり、子どもたちがこの校名を誇れるのではないかと考えたから。」「『中央小学校』という名前の学校は、全国にも多いのではないかと考え、敢えて『高知』を付けた『高知中央小学校』を推した。高知市の中

心から発信してほしいという願いをこめた。」などがございます。

「高知市立城東小学校」でございます。「高知市は城下町であり、新しい学校は高知城の真東に位置しているから。」「『城の東にある学校である』という意味から。」でございます。

「高知市立はりまや橋小学校」でございます。「『はりまや橋』と漢字の『橋』にこだわるのは、新しい学校が追手前小学校と新堀小学校の2つの学校の『架け橋』になってほしいという意味を込めたから。」

「『はりまや』『はりまや橋』は、新堀小学校からも追手前小学校からも近く、その中間地点にあるから。」

「『はりまや』や『はりまや橋』という名称は、全国に通用するものであり、小学校の名称としても全国に発進できる名前であると考えたから。」「『はりまや』『はりまや橋』という言葉には、明るくて活力あるイメージがあるから。」などがございます。

「高知市立第一小学校」でございます。「高知市には、第四小学校と第六小学校のように、数字で表されている学校が残っている。『第一小学校』と『第二小学校』が一緒になって新堀小学校ができ、『第三小学校』が追手前小学校となった。そのような変遷を踏まえ、『第一小学校』として高知市内の小学校の順位を校名に残してはどうかと考えたから。」「『第一』という意味から、子どもたちが誇れる名前ではないかと考えたから。」というものでございます。

それでは、この7つの候補名が校名検討委員会から報告されるに至った経過等についてご説明いたします。高知市教育委員会では、8月末に校名検討委員会を設置し、委員の皆様方に3回にわたって新しい学校の校名の決定に係る協議を行っていただきました。8月28日の第1回校名検討委員会におきまして、公募方法や募集期間といったものを協議していただきました。その結果、9月17日から10月15日までの約1か月間の募集期間とし、応募できる方は両校の保護者や児童、教職員、両校の校区にお住まいの地域の住民の方々をいたしました。

この公募結果を受けまして、10月17日の金曜日に行われました第2回校名検討委員会では、これらの集計結果をもとに校名の候補を絞り込むための話し合いを行いました。その結果が3ページにございます。第2回校名検討委員会及び公募結果における候補名の集計結果でございます。校名検討委員会で慎重な審議が行われた結果、各委員がそれぞれふさわしいと思う校名を選び、1人5票を投ずる形で絞り込みが行われました。公募により寄せられた73案から17案に絞り込まれたものでございます。この表には、参考値として公募での得票数や公募順位も右のほうに掲載しております。なお、白票が5票ございますが、これは公募名にふさわしい名前が5つない場合は、白票も構わないとしたものでございました。ただ、1票も投票しないという方はございませんでした。

次に4ページでございます。公募の集計結果を表しております。まず応募総数は179で、新堀小学校校区から108、追手前小学校校区から36、その他25、無記入10でございます。その他と申しますのは、特認校制度等がございますので、そういった方々であると認識をしております。また、これらのうち複数の支持のあったものを載せております。

まず、公募で一番多かったのは「はりまや小学校」で38でございます。次いで、「はりまやばし小学校」で16、3位が「はりまや橋小学校」で13でございます。同じ「は・り・ま・や・ば・し」という意味で捉えますと29の支持数があったということでございます。以下、中央小学校8、新堀追手前小学校4、第一小学校3、高知街小学校3、追新小学校3、追手堀小学校3、堀川小学校3、新迫小学校2、播磨小学校2、城東小学校2、横堀小学校2、一二三小学校2、龍馬小学校2、平成小学校2、よさこい小学校2、新迫手小学校2とございます。その他として1票が52校ございました。

右に行きますと年代別内訳でございます。最も多かったのが70歳以上の39人で21.8パーセント、次いで60歳代、40歳代でございます。また10代や在校生も投票していただいていることが分かると思います。また主な理由内訳といたしましては、地名、地理を理由とするものが94と半分以上を占めております。その他では歴史、両校の名前、言葉・イメージといったものもございました。まあ、新堀小学校を最後まで推した方も11票ございましたので申し添えておきます。

次に5ページをお開きください。5ページから9ページは、新校名募集の集計表でございます。寄せられましたすべての校名案を一覧表にしたものでございます。同じ校名には同一番号を振っております。

て、1枚目はすべてはりまや小学校となっており、以下、2枚目には、2番はりまやばし小学校、3番はりまや橋小学校、4番中央小学校と続きます。資料3枚目の新追手小学校までは複数の支持があったものでございまして、4枚目から5枚目にかけては、21番から72番までは単独支持の校名案となっております。さらに5枚目には現校名を支持するとして11通をまとめさせていただきました。

この表の最後にその他がありますが、はりまや町3丁目西親和会の代表者から新校名は新堀小学校にしてほしいと90枚分新堀小学校を支持するというものが提出されましたが、校名も応募者名も記されていない白票であったために校名検討委員会では、これらの取り扱いを審議した結果、無効扱いとするとして取り扱いがなされたので、そのことも併せてご報告申し上げます。

10月23日木曜日の第3回校名検討委員会におきまして、3ページの17候補から最終的に教育長に提出した候補名を絞り込み、1ページでお示ししました最終候補の7校名が決定したものでございます。どうか教育委員の皆様方には、こうした経過を踏まえまして、慎重に審議していただきまして、新しい学校名を決定していただきたいと存じます。

以上でございます。

澤田委員長

では、議案審査に移ります。ご意見はございませんか。

溝淵委員

一応、進め方としては、校名検討委員会が候補に挙げた7つの中からどれがいいかということで決めればよろしいですか。

学校教育課長

さようでございます。

溝淵委員

先ほどの説明で、3ページの校名検討委員会及び公募結果における候補名集計結果の表の白票5なんですけど、検討委員の皆さんは11名いらっしゃって、5票ずつ割り当てたわけですよ。そのうちの5票が白票というのは、ある名前がいいと思われた方が、5票を全部それに投票するという方法はとらなかったのですか。同じ名前を書いてはいけないという約束でなされたのですか。

学校教育課長

5種類の学校名でお願いしたいということでございました。どうしてもこの校名にしたい、それ以外を推薦しないという方が白票になったものでございます。

溝淵委員

そうすると、どうしてもその校名がいいと5票を投じないと、みんな5票持っていていろいろな名前を書かれる。同じ名前を書いてはいけないということになるのですか。

学校教育課長

投票を行った後に、私はそういう意見を持っているということをおっしゃったので、校名検討委員会には、その方の思いは伝わっていると思います。あえて、そのときに何票かを書いてご提出くださいという話にはならなかったということです。

澤田委員長

まあ、一人一人のお考えに任せたというような形ですよ。一つ何か、例があればご説明いただければと思います。

学校教育課長

7つの候補名を2ページに掲載させていただいたところです。7つの内容について各委員さんが出された内容でございます。その他、反対の意見が出されました。一つは、検討委員の中に「はりまや」というのは、居酒屋等のお店の名前や屋号にも多いので、それを学校名にするのはいかがなものかというご意見もございました。それから「はりまや橋」というのは、がっかり名所というイメージがあるのではないかという意見もありました。ただ、どちらかというとも良いイメージのほうがあるということで、こちらのほうに推薦理由として載せております。

澤田委員長

今のお話と少し連動しますけれども、この7つの候補名と同名の校名というのはございますか。

学校教育課長

実は、インターネットで検索しましたところ、特に多かったのが「中央小学校」、「城東小学校」、「第一小学校」があらゆるところで用いられているのが確認できました。「はりまや小学校」と「はりまやばし（橋）小学校」については、インターネットの検索では出てきておりません。

西山委員

この委員会で最終決定をするときに、どういう条件で決定するのか。例えば、この名前であれば全国的に高知に間違いはないというオリジナリティに重きを置くのか、決められたプロセスを十分考慮して枠組みとして第一候補とするのかを整理して決めるのか、多数決で投票して決めるのかですね。

澤田委員長

私としましては、多数決というよりも細かいところまでご意見、ご質問をいただきながら決定したいと考えております。検討委員会に出られた方もたくさんいますので、微妙な、私どもに伝わってこない部分の説明等もお願いできればと思います。

松原教育長

これまでいろいろな新しい小学校が発足したと思うのですが、過去の高知市の小学校の校名がどのように付けられたのか。例えば地域名を学校名にしたとかいろいろあると思うのですが、そこら辺はどうですか。

学校教育課長

最近では、介良潮見台小学校、横内小学校が、開校して10年になるのですが、そこは「介良」と「潮見台」という地名を使っております。横内小学校におきましても地名ということになります。その他も多く的小学校におきましては地名をとっております。「鴨田」「春野東」「春野西」「鏡」「土佐山」と、最近の合併におきましてもそうでございます。ただ、第四小学校や第六小学校といった校名も残っていますが、九十数パーセントの学校においては、地名を付けているのが現状でございます。

松原教育長

小学校が、それぞれの地域名を学校名にしているというのはよく分かるのですが、どうしてそういうふうな形になっているのか。それが例えば地域に密着した地域の学校というイメージなのか、そこら辺りはどうでしょうか。

学校教育課長

古いものについては詳しく調べておりませんが、やはり地域密着ですか、地域からのご意見が校名につながっているというのをお聞きしております。

溝渕委員

調べてみたのですが、小学校43校のうち地域名の学校が20校という気がするのですが、いかがですか。

学校教育課長

私どもの集計とは異なりまして、町名が変わっていたり、地域の方が呼ばれている名称であったりする場合があります。例えば、小高坂小学校ですと、今の地名ですと新屋敷というふうになってしましますが、小高坂地区という地名を付けて校名になっております。

溝渕委員

ああ、分かりました。

澤田委員長

いただいた資料にあったのですが、明治7年当時は、新堀小学校を「北街小学校」と言っていたこともあったようです。追手前小学校なんかも、明治5年頃は「成章学舎」ですから寺子屋だったのでしょいか、そういう時代もあったようです。少しずつ制度が浸透してきまして、明治9年頃になりますと「追手筋小学校」という名称を使っていますね。それが、明治34年には「第三尋常小学校」になるなど変遷があったと、これを見て感じるのですけれども。それで、高知市立追手前小学校になりましたのが、戦

後の昭和 22 年ということになりますね。新堀小学校も同じく昭和 22 年に高知市立新堀小学校という名称になっているようです。その新堀小学校と追手前小学校の変遷というものを、少しご説明願います。

学校教育課長

新堀小学校の前進は、挺秀学舎としてスタートしております。明治 7 年に北街小学校となったものと、明治 6 年に盈進学舎としてスタートし、明治 7 年に南街小学校になったものがあるというふうに聞いております。この二つの学校がそれぞれ明治 24 年に第二尋常小学校、第一尋常小学校となり、その後昭和 16 年に第二国民学校、第一国民学校と呼ばれるようになったものでございます。この二つの学校が統合いたしまして昭和 22 年に新堀小学校となって以降、新堀小学校が続いております。

次に追手前小学校でございます。明治 5 年に成章小学校としてスタートし、明治 9 年に追手筋小学校と名称が変わっております。明治 24 年には第三尋常小学校、昭和 16 年には第三国民学校、その後昭和 22 年に現在の追手前小学校になったという変遷の記録でございます。

澤田委員長

検討委員さんの構成は、両校区が均等という形だったのでしょうか。

学校教育課長

委員さんの構成は、両校区を均等にさせていただいて、あと学識経験者を 2 名、そして教育委員会の職員を 2 名ということで、それぞれ均等にさせていただきました。

澤田委員長

子どもたちの思いというのは、どういう形で取り入れられているのでしょうか。

学校教育課長

今回、児童からの応募数が少なかったという点が一つございます。

4 ページの応募者年代別内訳というのがございますが、ここに 10 歳未満 23 名と 10 代の中に 10 名在校生が入っております。それで、7 ページの「堀川小学校」でありましたら、新堀小学校 6 年生の方が「堀がいっぱいあるから」ということで書かれています。子どもからの数としては 33 名ということで、全体の数からすると少ないですが、こういうふうに右側の年齢で見ただけであればと思います。

澤田委員長

保護者や地域の方が相談して、応募したということも考えられますでしょうか。

学校教育課長

それはあるというふうに思っております。

澤田委員長

資料 6 ページのはりまや橋小学校を推薦する理由として、「二つの学校の架け橋」というのを読ませていただいて感動してしまいました。新聞報道にもありましたように、両校の地域の方々、保護者の方々が「私たちの学校」という思いは当然出てくると思うのですが、そのなかで子どもなりの視点で考えているのだなと感動したのですが。そういう思いというのは、検討委員会でも注目されましたでしょうか。

学校教育課長

委員長さんがおっしゃるように、2 ページにございます「はりまや橋小学校」の「橋」にこだわられた委員さんがいらっしゃいまして、「二つの学校の架け橋になってほしい」という思いを強く訴えられて、この「はりまや橋」の「橋」を平仮名ではなくて漢字にしてはどうかというご意見をいただいたところでございます。

澤田委員長

何かすごく胸に響きますね。もう一つの「はりまやばし」については、低学年にも書きやすいと配慮してくださっていますが、この漢字の「橋」というのは、教育課程では何年生で習うのでしょうか。

学校教育課長

3 年生で出てくる漢字でございます。

澤田委員長

比較的早く出てくるのですね、画数は多いように思うのですけれど。

山本委員

検討委員会の順位と公募の順位が多少違ってはいますが、検討委員会の中で公募の順位について何か話をされた経緯はございますか。

学校教育課長

公募の得票数も加味した形で、推薦を行うべきではないかというご意見がございました。そういったご意見のもと一人5票をもって投票した結果、こういう結果になりましたが、その7つを見ていただきますと、公募の結果も最終的には上位に入っているのかなというふうに私どもは考えております。

澤田委員長

3ページの資料を見ますと、多くの支持を得ている中に「はりまや橋」というように、「はりまや」という地名に愛着が出ているように思いますが、検討委員会での点について——俗に、「はりまや橋」の由来というのを聞いたことがあるのですが、そういったことは出ていましたでしょうか。

学校教育課長

「はりまや」というと、兵庫県の「播磨」ですとか、歌舞伎でそういったものから出ているものというように、他に使われているものを調べてみました。

歌舞伎役者の屋号の中に、中村吉右衛門の又五郎家というものに「播磨屋」という屋号があるようです。また、兵庫県の播磨という地域名であるようです。また、これは印象がよくないので参考までということで申し上げますが、インターネットからは、お煎餅屋さん、お寿司屋さん、お菓子屋さん、パチンコ屋さんなどで「はりまや」という名前が使われているのがございました。

溝渕委員

高知のはりまや橋というのは播磨屋宗徳という御用商人がいて、その人が造った橋だから播磨屋橋と名付け、その辺りに小間物屋さんなんかがたくさんできて賑わっていたと、高知市歴史散歩という本に書いてあったのですが、そういう由来を持つ名前ですね。

学校教育課長

おっしゃるとおりでございまして、高知の豪商で土佐藩の御用商人であった播磨屋宗徳と櫃屋が互いに本店が堀で隔てられていた。この両者の往来のため、私設で架けられた橋が「はりまや橋」の由来であるというふうに伺っております。

溝渕委員

この会議での採決ですけど、私としては公募が一番多かったのと検討委員会が一番多かったのが違うから、それをどちらにするかということで話し合ってみたらどうかと思うのですが。

澤田委員長

今の溝渕委員さんのご意見はいかがでしょうか。

松原教育長

先ほど、学校教育課長が言われた校名検討委員会では、順位性がないということでしたよね。順位性がないということで提案をもらっているということでもよろしいでしょうか。

学校教育課長

あくまでも最終決定は教育委員会に委ねるということで、校名検討委員会としてはこの7つを同等に見ていただいて、この中から様々な議論を経て決めていただきたいということです。この結果は事実ですけども、票が多いから選んでほしいということではないということで、順位性がないとしているものです。

西山委員

決定するための提案ですけども、校名検討委員会での得票数がありますね。それで公募の得票数もありますね。それを合算してどれにするかを決めたら一番妥当性があるのではないかと思います。公募数を基準に決めてもいいと思いますし、校名検討委員会の得票数を基準としてもいいかと思いますが、両方を合算してもいいかとも思います。

それで、ここに主観を入れてやっていっても、なかなか判断の基準というのは難しいというように思

います。冒頭に「いろいろお話をして決めましょう」ということだったのですが、「そういった基準はどういった形で決まったのですか」というのは当然聞かれるわけです。これだけの皆さんの意見を反映したものを根拠にしてあると分かりやすいのかなとは思いますが。結局、合算すれば必ずと数字が出ると思っていますので、公募の得票数と校名検討委員会の得票数を合算させた1位で決めたらいいのではないかというのが私の意見です。

澤田委員長

検討委員会は、ここに順位性はないということを出されておりますけれども、教育委員会としてもうちちょっと話し合っていければと思います。数字がこうだから、これに決定というのは少し躊躇する面があるのですがいかがでしょうか。

山本委員

「はりまや小学校」の場合は、各世代から多く支持されている。ただ、それぞれ「中央」にしても「第一」にしても高い世代の方に偏っている傾向があるのかなというふうに思います。子どもの意見、若い方の意見の捉え方をどうするかということもあると思います。

溝渕委員

検討委員会の得票数は、「高知市立中央小学校」が多かったのと、それから公募のほうの得票数が「はりまや小学校」だったので、それでどちらがふさわしいかというのを考えてみたのですが、「中央小学校」という名前については、「中央にある」という理由付けがあったのですが、中央高校というのは大津にあっても中央高校と言っていますし、その「中央」というのが市街地の中央かということ、高知の歴史から考えれば、堀詰から升形までが中央であって、新堀の辺りは歴史的な意味では入らないであろうし、それに比べたら「はりまや」のほうは、歴史的な名前であるということと、今の住所がはりまや町ですよ。だから、そちらのほうにじっくりくるように私は思います。

澤田委員長

地域の方々が、自分たちの学校であるという愛着、それから子どもたちの思いを中心に据えたときに、大人たちのうち特に60代、70代の方たちは、そういう時代を経てきておりますので、今名称を変えないでほしいというふうに思われていると感じるのですが、子どもの視点、子どもの思いというものを中心に据えて考えると、子どもなりにこれからを見据えて「はりまや橋」を「二つの学校の架け橋」というふうに言われている。

先ほど申し上げましたけれども、単に学校と学校の架け橋というよりも、子どもと子ども、保護者と保護者、それから地域と地域を、時の流れの中でこれから新しく歴史のページを刻んでいくのだという思い、そして数字にこだわっていえば、「はりまや」「はりまや橋」には着目しなければいけないのではないかというふうに思うわけです。その中で、新堀小学校の6年生でしたか、大人たちが対立感情まで出ているというのを、6年生くらいになるとそれを悲しく思うようになるのでしょうか。それを「両校の架け橋」という、非常に子どもらしい、まじめな、「これから」という思いが伝わってくるのです。

私も最初は、平仮名書きの「はりまやばし」がいいかなと思ったのですが、「橋」という字は、教育漢字で小学3年生から勉強するというので、この漢字の「はりまや橋」がいいかなというふうに——主観といえませんがそれまでですけど、そう思いました。「橋」というものは、そこに橋がなければ途絶えてしまうわけですから、そこからしっかりとつながっていくという意味、検討委員会でもそういう発言がされていたようですから。

それと、少し話がそれますが、検討委員会の年齢構成というのはどうなっていますか。

学校教育課長

それぞれ地域の代表の方につきましては、60代、70代の方が4名程度いらっしゃいます。それぞれの校長先生方は50代でございます。学識経験者も50代でございます。PTAは、はっきりとした年齢は分かりませんが40代ではないかというふうに思います。

澤田委員長

年代が高くなると、「中央小学校」だとか、城の東だから「城東小学校」だとかいうふうに、まとめた

くなる傾向にあるかなというふうには、私なんかは同じ年代ですのでそう思うのですが、私がこだわるのは、子どものほうから「架け橋」という言葉が出てきたことで地域の方にも、高年代の方にも納得が得られるのではないかと、そういうふうには思います。子どもを中心に据えたとき、非常に建設的な理由が書かれていたということに凄く評価したい気持ちがあるのですけれど。

山本委員さん、保護者の立場としてはいかがでしょうか。

山本委員

私の思いは、学校というのは地域で育ててもらおう。今の時代において、子どもたちが地域の方々からいろいろな影響を受ける、守っていただくし、育てていただくものだと思います。そういったことで、地域の方々に学校に対して関心を持っていただいた上で、ある意味子どもたちが呼びやすい名前とすれば「はりまや」という名前が地域にも浸透しているし、親しみやすいのではないかと考えます。この名前が決まれば、地域の方々も「ああ、自分たちの学校だ」という強い意識をもっていろいろなことに協力して行けるのではないかと、そういうふうには思います。

西山委員

論点が整理できてきたように思います。「はりまや」でいくのか、「橋」がついた形でいくのか。それで、仮に「はし（橋）」がついた形となったときには、「橋」でいくのか、あるいは「はし」でいくのか、そういうプロセスで採決してはいかがでしょう。

澤田委員長

進行についてご提案をいただきました。大きくいえば二つになるわけですが、「はりまや」あるいは「はりまやばし（橋）」に絞られてきましたね。

先ほどご説明があったのですけれど、「はりまや」という屋号を使ったお土産店などはありますが、「はりまやばし（橋）」という屋号などはありませんか。

学校教育課長

「はりまやばし（橋）」はありませんでした。

澤田委員長

最近では、いろいろな分野で高知から全国へ発信するということが唱えられているようですが、「はりまや」というのを先ほど辞書で調べてみたのですが、「播磨」という言葉は兵庫県の地名で、いろいろ熟語はありますね。播磨灘、播磨湯、播磨節などたくさんありますね。それで、漢字の「播磨」というのは旧の国名ですけど、「はりまやばし（橋）」は全国的にもよさこい節など他の民謡は歌えなくても高知の民謡は歌えるほど発信できていると思いますね。「播磨小学校」だったら兵庫県の「播磨」ということになってしまいますが、「はりまやばし（橋）」なら全国にもないとおっしゃられていたように、それは西山委員がおっしゃったように明快になるのは「はりまやばし（橋）」というふうには考えます。

溝渕委員

「はりまやばし（橋）」というのは、あの橋の固有名詞ですよ。

澤田委員長

先ほどのお話のように歴史がありますね。

溝渕委員

それから、はりまや町にあるから「はりまや小学校」というふうにはイメージがつながりませんか。

「はりまやばし（橋）小学校」という固有名詞を使うというのはいかがでしょう。

西山委員

ありますよ、一ツ橋小学校というのが。

松原教育長

「はりまやばし（橋）」というのは、はりまや橋という固有名詞と、先ほど委員長さんがおっしゃった二つの学校が一つになるということで、対立の構図ではないけれども、一緒になって橋を架けて一つになっていこうというイメージですよ。先ほどの子どもさんの意見は、「心の架け橋」ということでしょうか。

澤田委員長

そういう深いものを感じるので、他の意見を出された地域の方々にも、理由を打ち出すと納得してくれるのではないかと思うわけですね。検討委員さんの中には、「はりまや」という居酒屋があるということにこだわったご意見もありましたね。

「これから」という思いが伝わってくるように思うのですね。朱塗りのはりまや橋を指して言っているのではなく、検討委員会でも「架け橋」ということでした。現実には、そこに土佐の高知のはりまや橋があるわけですが、朱塗りのがっかり名所ではなくて、そういう歴史も踏まえながら「これから」という点で、意味が広がっていくとを感じるわけですね。単なる朱塗りの橋という意味だけで発言したわけではないと思います。

西山委員

校名を決めるに当たって、どういう理由でどういう思いをもって決めましたというのはとても大事だと思いますね。その「架け橋」ということが検討の中にあったということです。

それから、こういう決定というのは、歴史的経過、慣例等があると思いますので、具体的にどうするか、例えば最終的には投票で決めるということになるのでしょうか。

学校教育課長

どうしても決まらないというのであれば、投票という形もあります。そこは5名の委員さんに、二つには決めただどっちかであるというご判断であるということ、いわゆる無記名での投票というものはあり得ると思います。

澤田委員長

少し休憩したいと思います。

休憩 午後5時04分

再開 午後5時16分

澤田委員長

再開いたします。

ご意見等はいかがでしょう。

松原教育長

追手前小学校と新堀小学校で統合をめぐるいろいろなやりとりがあったというのは聞いておりますので、子どもの意見、検討委員会の推薦する意見の中にも、「橋」を付けて新堀小学校と追手前小学校の新しい学校として両校の良さを新しい学校が引き継ぐということで「橋を架ける」という検討委員会の委員さん、子どもさんの意見を踏まえ、私としては「はりまやばし（橋）小学校」がいいのではないかとこの意見を持っています。

澤田委員長

一つの校名を決めるということで、たくさんの時間をかけて、いろいろな視点からご意見をいただいたのですが、それでもなおご意見、ご質問はあってしかるべきとは思っています。

西山委員

前段で申し上げましたが、どこの学校か一目で分かるということで、「はりまや橋」と言われたら兵庫県にある「播磨」とは受け取られないし、また「はりまや橋」といったら高知だとすぐ分かるわけですので、漢字の「橋」を付けていけば、今後10年、20年となっても、「はりまや橋」といえば高知なんだねというふうになってくるかもしれない。今は名前を決めるに当たっての理念がどこにあるかということで、私は一つの校名でもって高知というのがさっと出るということで「はりまや橋」というのがいいのではないかなと思います。「はりまや」というのは、確かに呼び易いというのはあるのですけれども、

アイデンティティーという点で少し弱まるかなというのを感じます。

澤田委員長

西山委員さんから、早い時間に全国的に明快に伝わるという点で話されていましたが、ご意見がありますか。

山本委員

西山委員さんが言われることはごもっともです。ただ、「はりまや」という名前でも全国的に通る名前であると思いますし、また検討委員会の6名の方が投票されておるし、公募得票数でも最多ということもあって、「はりまや小学校」のほうがいいのではないかと今のところ思っています。

澤田委員長

私としては、できれば投票じゃなくて、総意という形になればというふうには思っています。

それで、学校の設置場所は、はりまや町なのですね。

岡村教育次長

はい、そうです。

澤田委員長

その「はりまや」ということへのこだわりは、中種という商店街がずいぶん前に名前を変えましたね。町内でいろいろ話し合った結果、はりまや橋商店街として非常に盛り上がり、努力をされていますよね。そういう思い、地域の方の思いは強いでしょうし。追手前小学校区からも「はりまや橋小学校」という応募はありましたね。

ちょっと誤解を受けるかもしれませんが、1点だけ申し上げると「架け橋」という私たちが思いもつかないような言葉が心に響きましたし、こだわり過ぎるかもしれませんが、検討委員会でもそういう解釈をしていたということが、非常に印象に残っているわけです。

西山委員

後で誤解があってもいけませんので、少し整理をしておきたいのですが、3ページ目の公募名の集計結果は、当教育委員会では参考資料であるという位置付けで同意をして、これは我々が決定するに当たっての参考であって、この数字を基にした判断はしないという決を取っておかないと、先ほど山本委員さんがおっしゃったように「得票数が多い」という議論が出てきていますので、私は1ページに挙げられている報告書の校名の中から決定するという合意をさせていただけたらというふうに思います。

澤田委員長

今のご意見のとおり、当委員会としては、あくまで検討委員会から出された7つの校名について、皆で議論するというので、先に言われた集計結果についてはあくまで参考ということで、確認いただけますか。

検討委員会も様々な角度から、教育に関心を持たれ、世間の一般の方のご意見、それから公平さということも立場としてきちんと身に付けられて臨んでおられると考えています。そういう点では、そうした数字ばかりにこだわらずにいろいろな角度からこの7つの校名を検討していけばいいということで、段々と「はりまや」と「はりまやばし(橋)」の二つになっていると思います。いかがでしょうか。

溝渕委員

委員長がおっしゃる「架け橋」という意味も分からないではないですが、町名がはりまや町だし、私は「はりまや小学校」ですね。それに「はりまやばし(橋)小学校」というのは言いにくいじゃないですかね。はりまや橋といたらあの朱塗りの欄干が目につく感じもありますし、高知の「はりまや小学校」と言えば、あのはりまや橋のある所というイメージもできると思います。

仮に「はりまやばし(橋)小学校」に決まっても、やがて「はりまや小学校」と呼ぶようになるのじゃないですかね。あえて「橋」を付けなくてもいいのではないかとこのようにも思います。「架け橋」という意味で「橋」を付けたいというのも分からなくはないです。

西山委員

溝渕委員さんの意見はごもっともだと思います。ただ、私の会社もそうですけど、「〇〇株式会社」と

いうのと「〇〇」というのとありまして、やはり一般呼称と正式名称というのがあると思うのですよ。そういう意味で、「橋」としたほうがよいのではないかと思います。

山本委員

私も確実にこだわっているというわけではないのです。先ほどの得票数というのが参考資料であるというのも分かります。ただ、追手前小学校の方々からも「はりまや小学校」とされたご意見もありますので、「はりまや小学校」がいいのではないかなと思います。

澤田委員長

現段階で、追手前小学校と新堀小学校の規模はどれくらいですか。

学校教育課長

新堀小学校の全校児童数が 283 名、追手前小学校が 224 名でございます。

澤田委員長

「はりまや」だったら、自分たちが吸収されてしまうというイメージがあるかなという気がします。元教員としては、公平さというのが大事だと思っています。今日に至るまでには様々な状況があったというのは伺っておりますし、故吉川教育長もそのようなことをおっしゃっていましたし、小さな問題を含めていろいろあったという気がします。

特に、追手前小学校のほうは、存続を考える会の方々が、本当に必死になって母校を存続させてほしいということを言われておりましたし、胸の痛む思いは常にしておりました。保護者や子どもの心情といった面でも、「はりまや」であつたら吸収合併されたというようなイメージがあるのではないかな——これは思い過ごしかもしれませんが、それだけみんなが学校への愛着というか、関心が深いということにある面では感謝もあるわけです。

西山委員

もう、投票という形でやったほうがよいのではないかと思いますのですけど。

澤田委員長

そうですね。採決の方法は、委員長の決するところによってなっておりますが、投票ということでもよろしいでしょうか。

溝渕委員

投票でなくても挙手でもよろしいんじゃないでしょうか。

澤田委員長

挙手という意見がありますが、よろしいですか。

松原教育長

「はりまや小学校」と「はりまやばし（橋）小学校」とで決めるということですね。

西山委員

先に「はりまや」で行くか、「はりまやばし（橋）」でいくかを決め、それから「はりまやばし」か「はりまや橋」で決めていくというのではどうでしょうか。

澤田委員長

そういう決め方が良いですね。

それでは、「はりまや」と「はりまやばし（橋）」の 2 案で挙手をお願いします。

まず、「はりまや小学校」がよいと思う方は挙手願います。

挙手の委員は 2 名です。

次に「はりまやばし（橋）小学校」がよいと思う方は挙手願います。

挙手の委員は 2 名です。

同数ですので、委員長採決によりまして新校名は「はりまやばし（橋）」に決しました。

続いて、「はりまやばし」と「はりまや橋」の 2 案でお諮りします。

まず、「はりまやばし小学校」がよいと思う方は挙手願います。

挙手なしです。

次に、「はりまや橋小学校」がよいと思う方は挙手願います。

挙手全員ですね。それでは採決いたします。

市教委第 53 号前段「高知市立新堀小学校・追手前小学校の統合に係る新校名の決定」につきまして、「はりまや橋小学校」とすることにご異議ありませんか。

委員一同

【異議なし】

澤田委員長

ご異議なしと認めます。よって、「高知市立新堀小学校・追手前小学校の統合に係る新校名の決定」につきましては、新校名を「はりまや橋小学校」とすることに決しました。

次に、「高知市立学校設置条例の一部改正に対する意見」について審議します。事務局の説明を求めます。

総務課長

総務課長の弘田です。委員の皆さまには、長時間にわたるご審議でお疲れのところ恐れ入りますが、今しばらくお時間いただきたいと思います。

去る 9 月定例市議会で岡崎市長が提案理由説明の中で、追手前小学校と新堀小学校の統合に係る高知市立学校設置条例の一部を改正する条例議案を 12 月定例市議会に提案したいという意向を示されておりました。

このたび、12 月定例市議会を控えまして市長から教育委員会に対しまして、学校設置条例の改正についての意見を求められましたので、本日ご審議をお願いするものでございます。

学校設置条例の事務局案でございますけれども、議案書の 3 ページをご覧ください。示されました改正議案の姿を記載させていただいております。

改正の内容でございますが、追手前小学校と新堀小学校の両校を平成 25 年 3 月 31 日に廃止し、同年 4 月 1 日に新校を設置、つまり開設するという内容でございます。

新校の名称は、先ほど長時間にわたりご審議いただき決定されました「はりまや橋小学校」とさせていただきます。この新しい学校名を、この 3 ページの中段の〔新校名〕と書いているところに記載することになります。

次に新校の設置場所でございますけれども、昨年 9 月定例市議会におきまして、岡崎市長が学校の設置者として追手前小学校と新堀小学校の両校を統合し、新しい学校をつくるという苦渋の判断をされ、新しい学校の設置場所として示されました高知市はりまや町 2 丁目 14 番 8 号の現在の新堀小学校の敷地とすることを確認させていただきたいと思います。

最後に、この改正条例の施行日でございますが、教育委員会としましては、昨年 8 月 1 日の臨時教育委員会での高知市学校規模問題検討委員会の報告書、「特認校・小規模校の検証と今後の方向性について」の審議の中で、「将来追手前小学校の統合が行われることがあったとしても、現在在学している児童」、その時点では平成 19 年度に入学した児童になりますが、「その児童が卒業するまでの間は、追手前小学校で教育が受けられることを保障すべきものであると考える」というふうに確認されましたように、「統合は平成 25 年 4 月 1 日とし、この日を改正条例の施行日としていただきたい」ことを市長に確認の意味で意見として提出したいという内容でございます。

以上でございます。

澤田委員長

議案審査に移ります。質問、ご意見等はありませんか。

委員一同

【なし】

澤田委員長

特にご質問等はないようですので、採決に移ります。

市教委第 53 号後段「高知市立学校設置条例の一部改正に対する意見について」は、新校名を「はりま

や橋小学校」，新校の設置場所を「はりまや町2丁目14番8号」，改正条例の施行日を「平成25年4月1日」としていただきたいことを教育委員会の意見として市長に提出することにご異議ありませんか。
委員一同

————— 【異議なし】 —————

澤田委員長

ご異議なしと認めます。よって、『高知市立学校設置条例の一部改正に対する意見について』は，そのように決しました。

以上で，本日の議事日程はすべて終了いたしました。これで教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後5時43分